

Hoya

Taki Plaza Gardener の広報誌

VOL. 07

日本語版



English version
available via QR code





エントリー No. 05 グローバルラウンジのポスター



グローバルラウンジに貼ってあるポスターの一部に Science Blue を見つけました。Taki Plaza で行われている様々な企画のポスターがありました。

エントリー No. 06 本棚エリアにあった TOEFL の参考書



本棚エリアで TOEFL 問題集を見つけました。これの背の部分の色が、Science Blue とほぼ一致。Taki Plaza にはこんな本もあるんですね。

エントリー No. 07 隈研吾さんの本 “KENGO KUMA”



こちらも Science Blue に近い色の表紙ですね。

エントリー No. 08 グローバルラウンジのコピー機



少し暗すぎる青でした。

エントリー No. 09 Science Tokyo のロゴマーク



Science Tokyo のロゴマークを見つけました。もちろん、Science スコープと完全一致しました。



エントリー No. 10 Attic Lab のホワイトボード消し



Attic Lab 入口にあるボードのホワイトボード消しの色が Science Blue でした！

エントリー No. 11 Attic Lab の本棚の本



Attic Lab にもたくさんの本がありました。こちらの『THE CELL』という本の色が Science Blue と近い色でした。興味深いタイトルの本もたくさん見つかりました。

エントリー No. 12 Attic Lab のテープカッター

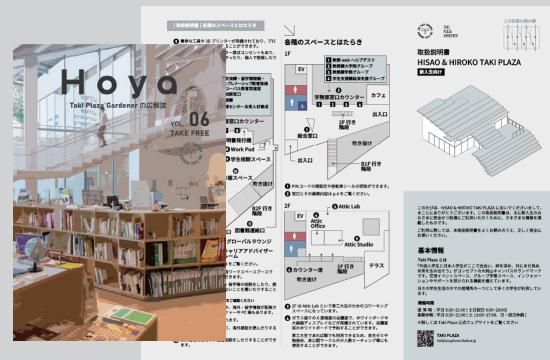


同じ本棚に Free To Use と書かれた、文房具がいくつかおいてありました。Attic Lab では、これらの他にも、3D プリンターや簡単な工具等が使えるようです。

調査の結果、東京科学大学のブランドカラーである、Science Blue と似ている色のものは、Taki Plaza の随所にあることがわかりました。

ここで、紹介した以外の物で、「もっと、Science Blue に近い物見つけたよ！」、「これも Science Blue じゃない？」といった発見があれば、ぜひ教えてください。

また、この記事を見て、「この写真って Taki Plaza のどこだ」、「Taki Plaza の使い方をより詳しく知りたい」と思った方は、是非第 6 号（2024 年 4 月発行）の「TAKI PLAZA 取扱説明書」をご覧ください。



TPG新班 システム班について

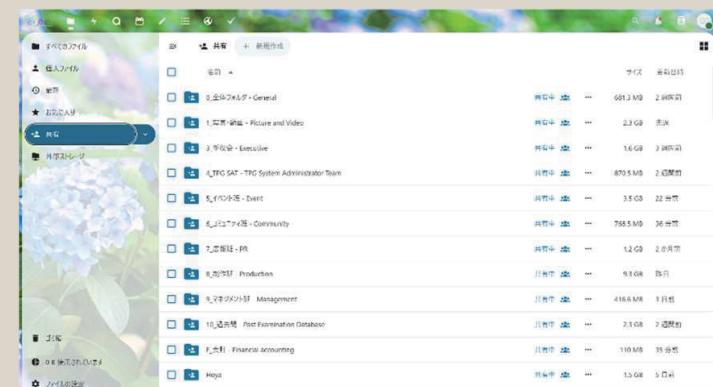
次の23Bの代から、新たに「システム班」ができることが決まりました！システム班とは、元々マネジメント班内の組織だった「SAT」が班に昇格したというものです。今回はシステム班の初代班長にインタビューしたので、システム班がどのような班なのかについて紹介していこうと思います！



ーどんな仕事をしているの？ー

・TPG portal の運用

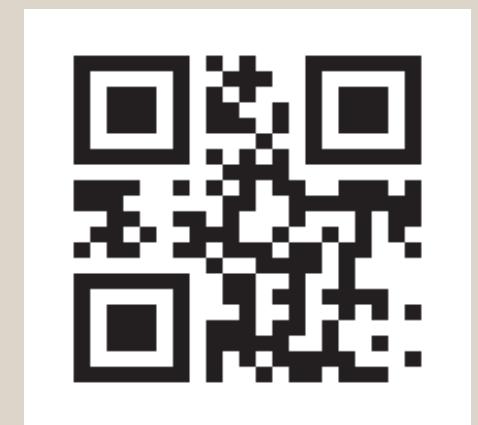
TPG portalは、TPG内部での議事録や写真を管理するサイトです！TPGで定例会がある時は多くの班でこのTPG portalを用いて会議を行っていて、TPGの基盤の役割を担っています！（広報班もTPG portalにお世話になっています）



TPG portalはこんな感じです！

・TPGのホームページの運用

システム班ではホームページの運用も行っています！TPGに興味がある方は見たことがあるのではないでしょうか？TPGのホームページでは、TPGが開催するイベントを紹介したり、文系教養科目特集などTPGに関係ないようなブログも投稿したりしています。ホームページが気になる方は下のQRコードをチェック！



ーシステム班に入るメリットは？ー

・ webサイトの作成の基礎を学べる

システム班ではTPG portalやホームページなどの運営を行っているので、webサイト作成のスキルが磨かれること間違いなしです！ゆくゆくはwebサイト作成ができるようになりたいという人にはオススメです！



・他の班（特にイベント班）がどういうことをしているのかを詳しく知ることができます

ホームページでの投稿を行う上で、他の班が開催するイベントの情報を知るのは必要不可欠です。TPG内部の色々な情報を知ることができ、他の班の人とも多く関わる機会があると思います！

ーシステム班に入るのには難しいの？ー

システム班の活動内容を見て、やりたいけど自分には厳しそう…と思ってしまう人も多いかもしれません。しかし、システム班は専門的な知識を持った人たちだけが集まっているわけではありません。実際システム班の前身のSATでは勉強会が何回か行われていて、知識の習得の手助けになっているので、初心者でも安心して入ることができます！パソコン作業に興味がある人はぜひシステム班を見に来てみてはいかがでしょうか？

文責：ふちしゅー



TPG合宿記録

今年もTPGは夏に合宿として3日間、河口湖へ行ってきました！

TPGの夏合宿とは、年に1度、班や学年を問わず、みんなで仲良くなるために泊りがけで行く行事のことです！

ここでは、今年の夏合宿を振り返ってみます 😊



自由企画



2024/8/7

11:30 渋谷駅 集合
バスで現地へ

去年までは現地集合
だったので、みんなで
移動するのは初の試
み！！



14:30 現地(河口湖)着



15:00-17:00 班に分かれ自由企画



河口湖の周りにはロープウェイや博物館、氷穴、サイクリングなど様々なアクティビティがあり、各班で楽しめました！

18:00 夕食

20:30 ビンゴ大会



ビンゴ大会



ビンゴ大会では、豪華景品がたくさんあつたので、とても盛り上がりました！

2024/8/8

8:00 朝食

9:30-12:00 自由時間

13:30-17:00 運動会

運動会企画一覧

- ・ドッジボール
- ・バスケ
- ・キックターゲット



合宿恒例運動会！
今年は競技ごとに参加する
かどうか選べたので、運動が
苦手な人も楽しめる形に！



運動会



やっぱ合宿と
いったら運動会
でしょ！

2024/8/9

8:00 朝食

10:30 現地出発 バスで移動

13:00 渋谷着

BBQ



18:00 BBQ



20:15 花火



花火



今年の夏合宿は50名以上が参加するという過去最大級のイベントになりました。

TPGでは毎年夏に合宿を行っており、学年や班、学院学系を超えて仲良くなれるイベントです。

少しでもTPGに興味を持ってくれた方は、TPGのSNSアカウントからDMで連絡お願いします 😊

TPGは年間を通して、いつでも入会できるので、連絡お待ちしております！



Instagram



X

文責 えんどー

手島精一と工業教育
1871-

東京職工学校 設立
1881.05.26

岩倉使節団(1871)の
欧米派遣によって得
た産業技術の知識を
活かし、工業技術教
育を日本国内で推進
した。

蔵前の地に、東京職工
学校が設立された。開
成学校や東京大学から、
留学経験のある優れた
教授スタッフが集めら
れた。1890年からは、
手島精一が校長として
東京職工学校の発展に
尽力された。

関東大震災
1923.09.01

太平洋戦争敗戦
1945

蔵前は烈震と火災に見舞われ、1881年
以来築き上げた資料、設備、施設など
の全てを失った。それでも翌年1924年
には拠点が大岡山に移され、5年後には
東京工業大学に昇格が決定された。19
34年に本館が竣工し、本学の拠点とし
て今日も聳え立っている。

日本全国が虚脱状態の中で、和田小六学長は直ぐに大学改革に着手した。近代教育の欠
陥により国民の知性と倫理性が不十分であること、教育における封建的思想の残存等が
指摘され、それらを払拭する改革が求められた。検討した内容は翌年4月から施行され
た。改革の一例として、人文科学・社会科学の講義が始まったというものがある。

長津田に
キャンパス設立
1975

長津田キャンパスは、2024年10月1日現在の
すずかけ台キャンパスである。「すずかけ台」
の名称は、谷口修名誉教授が、プラトンのア
カデミアに植えられていたすずかけの木から
着想を得て、東急電鉄の駅名に採用された
ち、キャンパスの新名称として2001年に採用
された。つまり、地名ではなく、生命力と成
長を象徴とする「木」が由来となっている。

Science Tokyoの歩み

教育改革
2016.04.01

Hisao & Hiroko Taki Plaza
グランドオープン
2021.04.08

2016年度から、グローバル社会に貢献できる
人材を育成することを目指し、教育改革を行
った。大学と大学院を一体化させた学院制度
の導入や、リベラルアーツ教育の強化などを
含む。その中で、2018年度には教養卒論も導
入された。本学の学生が、豊かな社会性と人
間性を基礎として、専門知識を実社会に活か
すことが期待されている。

大学統合の
基本合意書を締結
2022.10.14

東京工業大学と東京医科歯科大学
が合併し、東京科学大学が開学した。
英名はInstitute of Science Tokyo、略称はScience Tokyoとな
った。大学統合によって国際競争
力を高め、グローバル社会に貢献
できる人材を生み出すことが期待
されている。

2016年以来の教育改革に伴い、
滝久雄氏からの多額の寄付を受
けて創立された、国際交流の場
である。海外と日本から集ま
った学生が出会い、学生主体の
「つながる場」となっている。
仲間と協力して課題を進めたり
イベントに参加したりできる多
目的スペースとして、本学の学
生に愛されている。

東京工業大学と東京医科歯科大学が併合し、実際に約一世紀ぶりに
大学の名称が変わることを受けて、本章では本学の歴史を振り
返った。Taki Plaza Gardener の広報雑誌であるHoyaも、第07号
から横書きが標準となった。横書きにすることで、将来的に英語
などをはじめとする多言語に対応しやすくなる。

東京科学大学へ
2024.10.01

東京工業大学と東京医科歯科大学
が合併し、東京科学大学が開学した。
英名はInstitute of Science Tokyo、略称はScience Tokyoとな
った。大学統合によって国際競争
力を高め、グローバル社会に貢献
できる人材を生み出すことが期待
されている。

大岡山の月夜

寝静まった新緑の朧月夜、雲間から現れた銀の満月は「東京工業大学」最後の月食、半影月食となった。皆既や部分月食にならない半影月食で、肉眼で見やすいものは少なく、次は2082年となる。本学も約一世紀ぶりに名称を変えると言う稀有な節目を迎えた。夜空に浮かぶ月、そして東京科学大学も、輝き続けていく。

正門前を照らす満月 2023年5月6日



キャンパス南地区からの纖月 2024年5月9日

風薰る五月の夜、西空に纖月が顔を出した。蔵前から大岡山に移転した本学拠点の草創期は波乱万丈であり、過酷な試練の連続だった。関東大震災で知の財産が全焼し、太平洋戦争での敗戦も受けたため、本学は復興も兼ねて質実剛健たる礎を築き上げた。



西3号館から望む月齢13.9の望月 2023年11月27日

期末試験対策の合間に、晴れ渡った夕空に輝く望月と飛行機が共演した。当夜は新月から14日足らずで、望月としては殊に若かった。本学も2016年の教育改革に伴い、海外留学へのプログラムも整備された。我々を含む若い世代は、失敗を繰り返しながら、様々なことに挑戦していく。寧ろ今だから失敗し、やり直しできることが多いのかもしれない。



石川台の空に浮かぶ二十九夜月 2024年7月5日

「東工大」最後にして二回目の滝祭の日、梅雨の晴れ間となった朝空に、間もなく一ヶ月を終える二十九夜月が浮かんだ。夕方に行われた滝祭は大繁盛で、百人を超える参加者が集まった。日本国内の学生はもちろん、海外から集まった学生も楽しむことができた。2024年9月30日に、「東京工業大学」としての歴史は幕を閉じた。それでも、月がまた満ちるように、「東京科学大学」として新たな歴史を刻んでいく。

Hoyaは新しくなりました

お気づきの通り、Hoyaは第7号から綴じ向きを変更しました。これにより、これまで以上に見やすい誌面レイアウトが可能になりました。

進化し続ける広報誌『Hoya』に今後とも、どうぞご期待ください。



Hoyaの部屋

TPGの一員であるHoya編集部員が集まって雑談をする場所。

それが、『Hoyaの部屋』。

おおいし

Hoya 7号をご覧の皆さん、お読みいただきありがとうございます。

今回は、以下4人の編集委員で企画・編集しました！

- えんどう 広報班長 B3
- おおいし 広報班 B3
- はん 広報班 B2
- ぶちしゅー 広報班 B1

※いずれの学年も2024年9月現在

はん

編集して感じたことなのですが、私は進学のたびに、大きな節目となる経験をしてきました。

小学校では校舎の建て替えが行われ、中学時には元号が令和に変わり、

高校では敷地を通る電車が新型に置き換えられました。そして、本学 Science Tokyo では、大学統合によって名称も変わりました。これらの出来事はどれも数十年に一度しか起こらないものであり、極稀な偶然だったと感じています。

えんどう

私は夏合宿について編集したのですが、思えばもう TPG 最高学年（最後）の夏合宿ということで、もう3年生なのかという時の流れの早さに驚いています。大学生活ってほんと短いですよね。

時の流れが早く感じるって歳のせいなのですかね、、、笑

ぶちしゅー

僕は今回初めて Hoya の編集に携わったのですが、過去の先輩方のページを参考にして構成が本当に上手だなと感じました。あまり慣れていない作業だったので見劣りしていますが、少しでも多くの人の目に留まつたら幸いです。



Hoyaに関する
ご意見・ご感想